

TOWISE Ver.5.4.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
システム全般	システム	Windows10に対応しました。
TOWISE CAD	文字列	「引出記入」「2点配置」等の作図モードをポップアップメニューから指定できるよう機能追加しました。
TOWISE CAD	カットコマンド	領域を指定するモード毎に、「繰り返し領域を指定する」か「領域を指定後に配置位置にフォーカスを移動する」かを指定する「繰り返し指定」の条件を追加しました。
TOWISE CAD	コピーコマンド	領域を指定するモード毎に、「繰り返し領域を指定する」か「領域を指定後に配置位置にフォーカスを移動する」かを指定する「繰り返し指定」の条件を追加しました。
TOWISE CAD	移動、複写	図形要素を指定していない状態でも、回転・倍率を先に指定できるように改善しました。
TOWISE CAD	移動コマンド	2点指示の場合に倍率を常に等倍にする条件「等倍固定」を追加しました。
TOWISE CAD	図形情報	文字高さ、幅、間隔の設定で小数点以下1位までしか表示していなかったのを小数点以下2位まで表示するように改善しました。
TOWISE CAD	属性変更	線パーツや面パーツで複数の図形に対して「詳細図形化」が行える機能を追加しました。同じパーツ種別の図形を複数選択している場合に「詳細図形化」が指定できます。
TOWISE CAD	文字（線分配置）	線分に円・円弧を指示し、カーソルを動かすと残像が帯状に表示され図形が見えなくなる件を改善しました。
TOWISE CAD	文字列、文字編集	カレントレイヤが非表示の時、作図編集時の文字参考表示（VO）が表示されない件を改善しました。
TOWISE CAD	要素変換	変換方法の指定に「点⇒点パーツ」モードを追加しました。図形要素「点」を「点パーツ」に一括変換することができます。
TOWISE CAD	要素変換	変換対象図形を強調して表示することができる「要素確認表示」の機能を追加しました。
TOWISE CAD	ラスタ	ラスタファイルとの連結が切れている場合に開かれる「ラスタ連結先の指定画面」で、フォルダ指定により複数ラスタファイルの連結先を一括指定できるように改善しました。
TOWISE CAD	ラスタ連結の修正	「ラスタ連結の修正」機能において、「パスを指定して一括変更」する機能を追加しました。
TOWISE CAD	用紙レイアウト	「用紙サイズで図形をカットする」機能を追加しました。レイアウト変更の結果、用紙外となった図形を自動でカットできます。
DWG/SXFコンバータ	DM→シェープ(*.SHP)	異縮尺で配置されている点パーツが出力対象にならなかった件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	画地	画地コマンドからの画地属性の公簿面積の指定が小数以下6桁までだったのを7桁まで指定できるように改善しました。（本バージョン以降の環境で作成したバインダーのみ有効）
TOWISE BASIC GATE	計算書作成	横断観測手簿を「1ページ複数データ出力」オンで出力すると、略図と観測データの行が重なって出力されていた件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	数値地形図(*.DM)	異縮尺で配置されている点パーツが出力対象にならなかった件を改善しました。

TOWISE Ver.5.4.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
TOWISE BASIC GATE	ラスタ	ラスタファイルとの接続が切れている場合に開かれる「ラスタ連結先の指定画面」で、複数ラスタファイルの連結先を現在のバインダーに一括指定できるように改善しました。
TOWISE BASIC GATE	ラスタ表示	ラスタの表示を低解像度で行うことで高速にするモードを追加しました。 環境設定>その他>ラスタの描画モードで、モード変更できます。
TOWISE BASIC GATE	ラスタ連結の修正	「ラスタ連結の修正」機能において、「全て現在のバインダーパスに変更」する機能を追加しました。
TOWISE BASIC GATE	画地	境界点に空白行が存在した場合、確定時に自動で空白行を削除して登録するように改善しました。
TOWISE BASIC GATE	画地属性DBシート	不動産番号の入力で制限文字数を超える（13文字）入力ができないように改善しました。
TOWISE BASIC GATE	情報取得-2点間距離	測点2を画面から指示した直後にキーボード入力すると「不正な文字列です」とメッセージが出ていた件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	表示フィルタ	パート図文字の強調表示、中抜き表示機能を追加しました。 また、拡大率に応じて自動で文字が表示／非表示される度合を調整する機能も追加しました。
TOWISE BASIC GATE	用紙レイアウト	「用紙サイズで図形をカットする」機能を追加しました。 レイアウト変更の結果、用紙外となった図形を自動でカットできます。
測量CAD	横断面図計画点作図	TOWISEで作成された横断面図に対して、縦断面計画高の位置に点及び基準線を作図することができる「横断面図計画点作図」コマンドを追加しました。
測量CAD	測量文字編集	カレントレイヤが非表示の時、作図編集時の文字参考表示（VO）が表示されない件を改善しました。
測量CAD	ディスプレイ	登録する際の測点名称や地番に枝番号を付けないようにできる設定を追加しました。 設定条件に「自動で枝番号を付ける」の項目を追加しました。
測量CAD	属性作図	作図パターンの設定に項目毎のレイヤと色を指定する機能を追加しました。
現況CAD	簡易断面図	縮尺の作図で縦横が同縮尺の場合「1:1000」等の作図に、異縮尺の場合に「縦=1:1000 横=1:500」等の作図になるように改善しました。
現況CAD	構図－塀柵垣	記入方向の指示に作図の種類の一部に対して有効となる「中央」指示のモードを追加しました。
現況CAD	等高線／高さ指定等高線	標高の入力エディットにスピンコントロールを追加しました。 通常+1/-1単位で変更でき、Shiftキーを押した状態では+5/-5単位で変更できます。
現況CAD	柵作図	作図モードに「2点配置」「3点配置」を追加しました。
TOWISE IMAGE ANGLE	ラスタ自動配置 撮影情報ラスタ自動配置	設定条件の保存・呼出し機能を追加しました。
TOWISE IMAGE ANGLE	ラスタ自動配置 撮影情報ラスタ自動配置	配置編集で、配置原点（引出し）の変更を行う機能を追加しました。
TOWISE IMAGE ANGLE	ラスタ自動配置 撮影情報ラスタ自動配置	配置編集で「やり直し」機能を追加しました。

TOWISE Ver.5.4.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
TOWISE IMAGE ANGLE	ラスタ自動配置 撮影情報ラスタ自動配置	装飾条件> 写真番号の円付文字の設定に円高指定の条件を追加しました。
TOWISE IMAGE ANGLE	ラスタ自動配置 撮影情報ラスタ自動配置	プロット及び引出しの作図がオフの場合に撮影方向を写真番号または写真の周辺に作図するように改善しました。
基準点測量共通計算	基準点精度管理表	帳票「基準点精度管理表(厳密網)」及び「基準点精度管理表(簡易網)」において、点検測量出力欄の先頭行の単位(m等)に重なって数値が印字される場合があった件について、改頁の処理を見直すことで改善しました。帳票「基準点精度管理表(厳密網)」において、2頁目以降の点検測量欄のみゴシック体になっていた件について、明朝体で出力するよう改善しました。
基準点測量共通計算	点検計算(水平)	後視点を入力せず、取付点を入力した時、計算処理を行わないよう改善しました。「後視点なし・取付点あり」という設定では計算できません」というメッセージを表示します。
地籍測量(FG工程編)	番号図⇒地籍図変換	変換対象の筆界点番号図が1枚のみの場合、変換中にエラーが発生する場合があった件を改善しました。
水準単路線計算	器高式手簿	器高式手簿で「自」に設定している測点について、水準標高DBシートで標高を変更し、器高式手簿の既存パートの画面を開かずパート一覧から計算書出力を行った際に、変更前の標高で計算されていた件を改善しました。
縦横断測量	横断観測手簿	TS観測とポールが混在する場合に結線のつながりが不適切になる場合があった件を改善しました。
縦横断測量	横断観測手簿	横断観測手簿の観測標高、観測距離の出力で、「既知点・検測点」の1行目の情報を無条件に出力していたのを、観測の最初に利用される既知点の情報を出力するように改善しました。
縦横断測量	横断制度管理表	実測値/検測値は計算条件で丸め処理するよう改善しました。 ※較差、及び制限値の丸め方法は「切り捨て」固定
縦横断測量	縦断観測手簿	測点名称が長い場合に計算書出力でエラーが発生していた件を改善しました。
縦横断測量	成果作成(横断図)	センターからの描画範囲指定の最大値を[999.9mm]から[9999.9mm]に拡大しました。
GNSS地形応用	RTK-GNSS観測記簿	Galileoの出力に対応しました。
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点	GNSS観測記簿	GalileoおよびL5の出力に対応しました。
GNSSスタティック基準点	GNSS観測手簿	GalileoおよびL5の出力に対応しました。
GNSSスタティック基準点	GNSS共通観測衛星	GalileoおよびL5の出力に対応しました。
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点	重複基線点検	点検測量基線は「点検測量」タイトルを付けて別ページに出力されるように改善しました。
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点	精度管理表(地籍測量・図根点)	「重複辺の較差」に点検測量基線が出力されないように改善しました。
GNSS RTK基準点 GNSS地形応用	RTK-GNSS観測手簿	Galileoの出力に対応しました。

## TOWISE Ver.5.4.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
現況DM編集	インポート - 数値地形図(*.DM)	読み込み対象ファイルのDM図郭に複数の更新情報があり、かつ図郭原点端数情報を保持しているとき、図郭原点端数情報が最新のレコードだけに存在するとき以外は図郭原点に誤差が発生していた件を改善しました。
DM編集オプション	JPS・SIMA-DM(*.DMF)	異縮尺で配置されている点パーツが出力対象にならなかった件を改善しました。
文書CAD	ラスタ表示	ラスタの表示を低解像度で行うことで高速にするモードを追加しました。 環境設定>その他>ラスタの描画モードで、モード変更できます。
GUIDER ZERO基本機能	GUIDERデータ表示設定	「GUIDERデータ表示」をさまざまな表現ができるように設定を追加しました。「GUIDERデータ表示」は図面に登録された測点や観測の情報を表示する機能です。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	器械点や後視点を図面上のピックで指定するとき、ピック対象の点が存在しないときは何も行わない動作でしたが、空きNoにピックした位置を新点登録して利用するかどうかのメッセージを表示し、そのまま利用できる機能を搭載しました。操作の練習などをより簡単に行えるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測開始	器械点や後視点到に編集ロックされている測点を指定すると観測開始できなかった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	常駐機能	CF-19のような「感圧式タッチパネル」を搭載した機器で、常駐機能「タプ一覧-測点一覧」を有効にすると、タッチで測点DBが起動すると同時にエラーが発生する場合があった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	表示	観測ドッキングウィンドウのタイトルバーにある[×]ボタンを意図せず押してしまうことでウィンドウが閉じることがあったため、除去しました。観測ドッキングウィンドウを閉じたい場合は、メニュー [表示] - [ドッキングウィンドウ] - [観測] をご利用ください。なお、観測ドッキングウィンドウを閉じた場合でも観測は終了せず、画面が一時的に非表示になるだけです。

2015年10月 株式会社 ニコン・トリンプル